

緊張の緩和と透過性の違い

緊張の緩和は馬体の柔軟性という言葉に置き換えることができる。すなわち、馬体が柔軟であるということは、馬が心身共に馬体全体の力を抜いている状態をいう。それ故、馬の歩調は乱れることなく一定であり、ハミを柔らかく受けることができる。すなわち、歩調・緊張の緩和・依倚の3点はそれぞれ密接な関連性があるということである。

一方、透過性というのは馬体全体の柔軟性はもちろんのこと、前後左右の全体的な柔軟性と均等な運動の実施が可能な状態をいう（騎手の扶助に対する透過）。すなわち、左右の均等な図形運動および運動課目の実施が可能。そして、前進□後退が一直線上で真っ直ぐな抵抗なく実施可能。

そのためには、馬体の真直性が前提となる。

馬体の透過性を強く求められる運動課目

- 前進 ⇔ 後退（中央線上）
- 駈歩ピルーエット（左右）
- ピアッフエ
- パッサ-ジュ
- 移行

真直性と透過性

馬が真っすぐであるということは、前駆が後駆の前方に真っすぐに位置しているという事であり、それによって内方後肢は内方前肢の方向に外方後肢は外方前肢の方向に踏歩していくことができる。そのような状態であれば、馬は直線上においても曲線上においても真っすぐであるということができる。すなわち、馬は左右によれることなく実施がすみやかに行える。

このように馬体の真直性を心がけることによって馬は騎手の扶助に対し透過してくるようになり、さらには馬体全体の透過性が確立されてくるのである。すなわち、馬体の真直性を確立することによって馬体の透過性を養えるのであり、一方、馬体の透過性の確立に努めるためには、馬体の真直性に確立に努めることが必要であるということである。また、真直性および透過性の確立のためには弾発が必要不可欠で、力強い後肢の馬体下への踏み込みがそれを決定する。